

1-1. 第1回デジタル分科会の振り返り（概要）①

日程

令和6（2024）年7月22日（月）14:00～17:00

会場

日本森林技術協会 3階 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

次第

- (1) 事業の実施概要
- (2) デジタル林業戦略拠点の横展開の実施方針（案）
- (3) デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告
 - ①北海道地域、②静岡地域、③鳥取地域、
 - ④事務局：デジ林3地域の導入効果等

参加者

【委員等】 鹿又委員（座長：Web）、中澤委員、高橋委員
岡田 広行 氏（オブザーバー、住友林業株式会社）
【デジ林3地域】 北海道地域、静岡地域、鳥取地域
【事務局】 林野庁、日本森林技術協会



写真 第1回デジタル分科会 開催風景

今後の開催予定

回数	開催時期	主な検討内容
第2回	令和6（2024）年 9月6～7日（金～土） 現地検討会（鳥取県）	<ul style="list-style-type: none">□ 鳥取県デジタル林業コンソーシアムの取組を視察<ul style="list-style-type: none">■ 現地を視察し、忌憚のない意見を聴取する。■ 分科会委員（コーディネータ含む）、デジ林3地域、林野庁、事務局で意見交換を予定
第3回 (案)	令和7（2025）年 1月中旬 （日林協会館を予定） （Web会議も併用予定）	<ul style="list-style-type: none">□ 横展開に向けた検討の実施状況・最終報告□ デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告<ul style="list-style-type: none">■ 北海道地域、静岡地域、鳥取地域□ デジタル分科会のとりまとめ

1-2. 第1回デジタル分科会の振り返り（概要）②

指導・助言、意見等（抜粋）

項目	内容
横展開について	<ul style="list-style-type: none">□ 他の都道府県が今後コーディネータ派遣等の支援を受けたい場合、公募制を取るようになるのか。また、実際にそうなった際には、現状のコーディネータ数では対応が難しいのではないかと。■ コーディネータ育成や誰がコーディネータとなるべきなのか等、議論を行うことが望ましい。■ デジ林3地域がコーディネータとして対応可能になるのではないかと。□ (チェックリスト)評価者と被評価者が基本的に双方向性ではないように感じる。□ (チェックリスト)設問によっては評価に迷うところがある。□ (導入効果算定表)数値を示すことは重要だが、あくまで目安として使用することがよい。□ (導入効果算定表)川中・川下まで算定表に加えるにあたっては、工程管理・販売管理という視点になると加工の工程が入ってくる。加工工程を整理するには保有機械やシステム内容、事務手間の経理システム等の視点も必要となる。□ (導入効果算定表)造林・育林に関する視点も必要になるのではないかと。
3地域の取組	<ul style="list-style-type: none">□ (北海道地域)ICTハーベスタで伐採し、取得された検知データの活用に関し、取引先（製材工場等）との合意形成が重要である。今年度は合意形成を進めるため、寸面のない丸太の受入に対するモデル的な数値化を整理していく。□ (静岡地域)県森連による納材先・配車調整を行うにあたり、山土場の状況を瞬時にデータで把握する。今年度はシステムの利用拡大に向け、システムの機能追加（写真検知等）によって実用性の向上を図っていく（試行運用等）。□ (鳥取地域)県産材の需給傾向をビックデータとして把握・解析し、適切な在庫管理やマッチングの推進を図る。今年度は、導入したシステムの試行運用を通じ、実務者等へ利便性・有用性を啓発する。また、システムへの機能追加（証明書発行に係る手数料等）に向けた検討を行う。